

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	政治学概論B (Survey of Political Science B)		
ナンバリングコード	K10902	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	教職関係科目(必修): 高等学校教諭一種免許状(公民) 教職関係科目(選択): 中学校教諭一種免許状(社会) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K003951	クラス名	-
担当教員名	鄭 敬娥		
履修上の注意、履修条件	国際的諸事象について関心を持ち、常に新聞やニュースなどに目を通しておく。		
教科書	そのつどプリント提示		
参考文献及び指定図書	村田晃嗣ほか編『国際政治学をつかむ』(有斐閣、2009)		
関連科目	なし		

○基本情報	
授業の目的	①現代の国際関係の歴史や基本的構造を理解する。②その上で、今日国際関係において押さえるべき、争点を分析し、その背景を考え、問題解決の道筋を検討する。③日本と国際社会とのあり方を考える。
授業の概要	グローバリゼーションの展開やパワー構造の変容など、具体的なテーマを一つずつ取り上げながら、複雑多様化しつつある現代国際社会を紐解いていく。そうすることによって、国際社会を把握するための基本的な分析枠組みを獲得する。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ディベートへの参加度など。	60点	20点	20点
【知識・理解】	国際社会の争点を分析し、自分なりの観点を獲得する。			
【技能・表現・コミュニケーション】	興味のあるテーマについて、プレゼンテーションを行う。			
【思考・判断・創造】	ディベートやプレゼンテーションなどの作業を通して、人の意見を聞き、自分の意見をより深める作業をする。			

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
基本的な概念の理解度および引用元の提示など。 ディベートへの貢献度など。

○その他

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	政治学概論B (Survey of Political Science B) 鄭 敬娥	授業コード	K003951
学修内容				
1. 国際政治とは:①「主権国家」体系の成立と国際政治				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
2. 国際政治とは:②国際政治の歴史とその変容				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
3. グローバリゼーションとは:①ポスト冷戦の意味・内容				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
4. グローバリゼーションとは:②経済のグローバル化				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
5. グローバリゼーションとは:③「主権国家」体系の現在				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
6. ポスト冷戦期における国際紛争の構造:国際社会で紛争はいかなる形で勃発するのか、その背景や構造を理解する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
7. ポスト冷戦の安全保障:多様化した安全保障の状況、取り組みなどを検討する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
8. 国境と人権:①「基本的人権」とは:人権概念の成立・歴史などを理解する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	政治学概論B (Survey of Political Science B) 鄭 敬娥	授業コード	K003951
学修内容				
9. 国境と人権:②エスニシティと「多文化社会」論				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
10. 国境と人権:③日本の内なる国際化:グローバル化に直面した日本が抱える問題点を「人権」の側面から検討する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
11. 国際政治における行為体の多様化:国際問題の多様化とともに、問題解決の主体も多様化した状況を理解する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
12. 国際的「市民社会」とNGO/NPOの役割:国際的な民主主義を担う主体としてNGO/NPOに注目し、その役割や現状を検討する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
13. 国際社会における日本の役割:①戦後日本の歩みと国際政治				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
14. 国際社会における日本の役割:②世界平和と日本				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	授業の内容、問題の所在などを自分なりに分析して、疑問点などがあれば、次の時間に質問するように用意			約2時間
15. 総括:振り返り				
予習	授業の全体を通して、もう一度説明してほしいところ、疑問点などを整理して、質問するように用意する。			約2時間
復習				約2時間
16. 期末試験 定期試験				
予習				
復習				